

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年8月17日
事業者名:	ライン生コン 株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・ 混和材量である火力発電所の副産物として発生するフライアッシュ（石炭灰）や、鉄鋼の製造過程で発生する高炉スラグ微粉末を用いることでCO2排出量抑制効果、環境負荷低減に貢献。並びにコンクリート性能の向上に寄与しています ・ 太陽光発電設備による自然エネルギーの活用。非常時の電力確保、地域のインフラ維持に役立っている ・ 川辺町と災害支援協定の締結により、緊急時対策として給水タンク設置による火災消火水の供給、非常用電源を設置。給水タンクには断水時の飲料水を確保しており、有事の際には避難場所としての施設提供を実施します ・ 毎週月曜の舗道清掃活動、四半期に一度安全パトロールを実施し、地域の美化と安全を保持する	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑩住み続けられるまちづくりを、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	令和4年度、フライアッシュ配合、高炉スラグ配合の取扱割合を30%/月達成	指標	フライアッシュ・高炉スラグ取扱割合
				目標	令和7年度までに、フライアッシュ配合、高炉スラグ配合の取扱割合を50%/月達成
社会	・ 毎年、新年例会時のチャリティー収益金を全額、中部善意銀行へ預託。社会福祉拡充・学業の充実に役立ててもらっています ・ 県立可児工業高等学校・関市立関商工高等学校から中長期インターシップを受入れている ・ 県立可児工業高等学校と「コンクリート技術者養成に関する連携協定」を締結。出前実習による具体的な業務に携わる事を通じ、業界全体の若手人材育成に寄与しています	③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑦パートナーシップで目標を達成しよう	・ 令和5年1月、中部善意銀行へ49回目、222,824円預託 ・ 令和4年8月、インターシップ1校3名受入	指標	・ 中部善意銀行へチャリティー収益金預託 ・ 高校生インターシップ受入れ
				目標	・ 令和7年までチャリティー預託毎年実施。 ・ 令和7年度までに延べ2校受入れ
経済	資格取得支援金制度を定め、社員の資格取得にかかる費用を全額負担する。キャリア形成の支援をする	④質の高い教育をみんなに	令和4年度、4名の社員を支援	指標	社員の資格取得支援件数
				目標	令和7年度までに10名の社員を支援
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・ 重点項目について社内共有を実施 ライン生コングループ公式LINEを開設し、各取組み事案について速やかに発信し共有を図っている			
	<input checked="" type="checkbox"/>				